

氏名	好 永 順 二		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1144 号		
学位授与の日付	昭和 55 年 9 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)		
学位論文題目	Creutzfeldt-Jakob 病の脳波学的検討 — 2 剖検例の報告と文献的考察 —		
論文審査委員	教授 大田原 俊輔	教授 庄盛 敏廉	教授 西本 詮

学位論文内容の要旨

C-J病の2剖検例の主要臨床症状と脳波像の関連について検討した。次に、本邦剖検例の中で典型的な周期性同期性放電(PSD)を認めた15例の臨床病理学的検討を行い、以下の知見を得た。

1. PSDは失外套症候群の病像と密接に関連しながら推移し、その病像が確立される時期に最も活発に出現した。
2. PSD記録時の経過月数は、2/3の例は3カ月以内の病初期であった。
3. PSD記録時の臨床症状として、13例に失外套症候群またはそれに近い病像を認めた。
4. 脳の病変分布に次のような特徴を認めた。
 - a) 大脳皮質の広汎な病変のみが全例に共通する。
 - b) 基底核では線条体に、視床では内側核に病変が強い傾向がある。
 - c) 中脳以下の脳幹の障害は最も少ない。
 - d) 白質と小脳の病変に一定の傾向は認められない。
5. PSDの発生機序を皮質-視床関連機構の障害にもとめ、考察を行った。

論文審査の結果の要旨

本研究はCreutzfeldt-Jakob病の各病期にわたる系統的継時的脳波所見、臨床症状の推移及び剖検所見を詳細に対比検討したものであるが、特異な脳波所見の発現機序、臨床脳波相関、診断的意義について重要な知見をえたものとして価値ある業績であることを認める。

よって、本研究者は医学博士の学位をうる資格があると認める。